



表紙の花[大文字草]
撮影場所:本弘寺別院

朝晩の冷え込みが日に日に増し、木の葉が舞い散り、行く秋が惜しまれる今日このごろです。この寺報もまだ3号目ですが、早くも色々な方々から、反応をいただき嬉しい限りです。

さて、先日、お彼岸の法要が無事に厳修されました。娑婆からお浄土へ生まれる喩え話を絵にした「二河白道(にがびやくどう)」を前に住職より「この絵は、ある旅人が、とどまっても死、進んでも死、戻っても死という絶体絶命の中で、眼前に一筋の白い道が現れ、どこからともなく『この道を安心して進め、必ず死の憂いは解決する』と阿弥陀仏、お釈迦さまのお声が聞こえ、安心して歩むことができた。と言うお話です。この絵が問題にしているのは、死を自覚することにあります。さて、我々は毎日何をして過ごしているでしょう。死を漠然と捉えていないでしょうか。この旅人と同じように、自分も必ず死ぬ身と深く自覚したときに、生死が輝くものとなります」という法話がありました。



報恩講のお知らせ

日時 11月18日(水)
受付 10:30~ 法要 11:00~12:00

恐れ入りますが、準備の関係上、返信ハガキにご参詣人数をお書き添えのうえご返送くださいますようお願いいたします。

門徒もの知り帳

11月28日は浄土真宗の宗祖 親鸞聖人の御命日です。そのため、11月は各地のお寺で、親鸞聖人の恩徳に報うための法要を執り行っています。その法要を**報恩講**といます。なぜ我々が親鸞聖人を慕うのかというと、歴史上の偉人というからではありません。迷い悩み多い我々の人生に、この道一つを明らかにしてくださった方だからです。

親鸞聖人という方は、比叡山で僧侶にお成りになりましたが、当時の仏教、またご自身に疑問を持ち続け山を下りられました。というのも本来すべての者を救うはずの仏教が差別(当時の比叡山は女人禁制であった等)をし、また権力者の出世の場になり果てていたからです。またご自身も救われる道を明らかに出来ず絶望のなか山を下りられてしまいました。しかし、法然上人と出会われ人間が**本当に救われる御教え**に出会われました。それ以降、親鸞聖人は妻帯し子も授かり民衆たちと同じ生活を営み苦悩をともにするなか、御教えを深められ、寄り添い共に救われる道を実践された方です。

その道は決して平坦なものではなかったと思いますが、ご自身の長男を義絶されてまで、貫き通された非常に強い思想のお蔭で、800年後の今日に至るまで、親鸞聖人の御教えが生きる力になっている方が大勢いらっしゃいます。法要後の法話の中で、もう少し詳しくお話しさせていただければと思っています。

当寺の報恩講は11月18日水曜日です。平日ですが、お時間を作りになり参拝ください。

こども仏教

ブツダがせんせい

今(いま)

小さい頃に、お父さん、お母さんを亡くしてしまった、しんらん聖人は、9才のときにお坊さんになることを決めたんだ。お寺に行って和尚さんに「お坊さんになりたい」と言ったとき、和尚さんに「もう夜も遅いから明日、お坊さんになる準備をしよう」と言われてしまった。すると、しんらん聖人は、こう言ったよ。

『明日ありと思う心の仇桜』

夜半に嵐の吹かぬものは』

今の言葉に直すと、『明日も咲いていると思ってる桜も、夜に嵐がきて散ってしまうかもしれない』という意味。そして、しんらん聖人は、「明日が来るなんてわからないから、どうか今日、お坊さんにしてください」と頼んで、その日のうちにお坊さんになれたんだ。

みんなは、明日でもいいかって気持ちになったりしないかな。今日できることは、今日やろうって気持ちがとても大事だよ。

仏教では、今を大事にしなさいと教えています。過去をひきずり、未来に想いを馳せ、今が抜け落ちてしまう私たちです。2歳の娘が「十和子もいつか死んじゃうんだよ」と言ってハッとさせられます。そんな時、「そうだね。だから、今日一日がとても大事だね」と伝えます。親鸞聖人の言葉には、人の命が儂いものだという意味が込められています。自分の命も他の命も儂いからこそ、尊い命を生きているのだと教えていただける機縁になれば嬉しく思います。 坊守

みんなの掲示板

富鶴浄苑で働いてくださっている岩井悦子(旧姓 前野)さんは、鉄彫刻の作家さんです☆
11月9日から6日間の日程で個展が開催されますので、ご紹介させていただきます。



前野悦子 個展 ~鉄の羽~

Etsuko Maeno Solo Exhibition ~Wings of iron~

2015.11.9 [Mon] ~ 11.14 [Sat]
11:00~18:00 (Last day ~ 16:00)

gallery UG

〒101-0031
東京都千代田区東神田1-14-11ヤマダビル1F
1F Yamada Building 1-14-11 Higashikanda,
Chiyoda-ku, Tokyo 101-0031, Japan
TEL.03-5823-7655
FAX.03-5823-7656
ginza-kikaku@uniglavas.com
http://www.gallery-ug.com



【アクセス】

・JR横須賀線・総武快速「馬喰町」、都営新宿線「馬喰横山」、都営浅草線「東日本橋」、いずれの駅も地下連絡通路により繋がっておりますので、JR馬喰町駅近くの出口④よりお越し下さい。
地下出口より馬喰町一丁目交差点を右折、徒歩1分。
*エトワール海渡「ホームデコ館」を目指して来ると分かりやすいです。



こんなとき

- よく、三回忌から七回忌まで間が空いてしまうけど、この間の命日は、どのように過ごしたら良いのでしょうか。と言ったご相談を受けます。ご命日に家族やご親戚がお線香をあげに集まるだけというご家庭も多いかと思えます。
- 回忌法要にあたらぬ年のご命日には、**祥月参り**と言いまして、ご自宅に伺ってお経をおあげしております。
- また、あまり馴染みがない方もいらっしゃるかと思いますが、月命日には、**月参り**もさせていただいております。
- 祥月参りの相場は一万円~、月参りは三千元~です。
- もちろん、ご自宅以外にもお寺でもできます。ご要望がございましたら、お気軽にご連絡ください。

年間行事

1月1日	修正会
3月春分の日	彼岸法要
8月15日	お盆法要
9月秋分の日	彼岸法要
11月18日	報恩講
定例法話	
毎月18日	11:00~お寺
毎月第一日曜	14:00~霊園

本弘寺別院
秦野市渋沢 1398-12
TEL: 0463-82-9577
honkouji.wakka@gmail.com